

■問いと答え■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 459 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

459 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：問いと答え
4. 今週の動向+今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

先週の報告とご挨拶

先週は、1/26NPO 法人 HOME-FOR-ALL の定例会&新年会に参加するため、人形町まで出かけました。

思えば、昨年 10/6 の事故以来の外出で、ひとりで電車に乗るのも、ジーパン履くのも 3 か月半ぶりで、緊張する一夜でした。

HFA は、東日本大震災の際、たとえ小さくても地域の交流施設を作るべきと、「みんなの家」の建設に奔走した建築家の集団なので、今回の能登地震について、これから何をすべきかの議論が伯仲しました。

また、1/27 に相談に見えた HI さんがまつむら塾に興味を持ち、早速翌日の無料ガイダンスを受講して入塾されたので、来月 3/13 から「実現学火曜クラス@笑恵館」の開港が確定しました。

.

今週は、HI さんの紹介者が見えるので、2/31(水)の 10 時から無料ガイダンスを開催します。

先週のガイダンスで HI さんが「地主学」についても知りたいとおっしゃるので、どうせ無料なら「実現学+地主学」にしてしまいました。

今後とも、まつむら塾の無料ガイダンスでは、まつむら塾の全てのコンテンツをご案内いたします。

随時受付・開催しますし、遠隔地の方はオンラインでも OK です。お気軽にご相談ください。

今週も、どうぞよろしくお願ひいたします。

.....

2. まつむら塾より

現在開催中の講座は下記の通り（1か月分）。

名称	日時・内容	場所	受講料
土曜ガイドダンス講座	毎週土曜日 10-17時	笑恵館	無料
随時ガイドダンス講座	随時開催、受付中	応相談	無料
実現学（火朝教室）	02/13（火）10-12時・B11.疑問とは何か 02/20（火）17-19時・B12.理系と文系 02/27（火）10-12時・B13.自分とみんな 03/12（火）10-12時・B14.見かけと中身 03/19（火）15-17時・B15.過去と未来	笑恵館	3,000円/回
実現学（水夜教室）	01/31（水）22-24時・B24.伝達の確認 02/07（水）22-24時・B25.感動の作り方 02/14（水）22-24時・B31.地域と市場 02/21（水）22-24時・B32.地域と資源 02/28（水）22-24時・B33.地域と格差	zoom	3,000円/回

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

### ■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

### 3. ブログより：問いと答え

まつむら塾の9回目の講義は「伝達の確認」というタイトルで、自分の意図を伝達できたかどうかは、確認しないと判らないという話。

だからこそ、コミュニケーションは欠かせない・・・という意味で、僕の大好きなテーマでもある。

だが、まず初めに「伝達とは何か」が分からなければ、その確認などおぼつかない。

伝達とは「自分の意図を相手に伝えること」と言うが、そもそも「伝える」とは何だろう。。

「伝える」という言葉には、「1. 何かをあるものを経て届ける」と、「2. 何かを受け継いで残す、次代に渡す」という2つの意味がある。

継続にこだわる僕にとって、「伝えられた人」が自らも「伝える人」になることを示す後者の意味は、極めて興味深いですが、前者の意味には重大な疑問を感じる。

「あるものを経て」とは何なのか。

・

もちろん「あるもの」とは、「媒体（メディア）」のことを指す。

人間が外部情報を目や耳などの感覚器官で受信する以上、光や音などの媒体が欠かせない。

以心伝心（いしんでんしん）という概念はあるものの、日常のコミュニケーションでは不可能だ。

だとすると、後者の伝承的な意味は「人を媒体にして伝えること」を指すのであり、「媒体を介した間接行為」であることこそが「伝える」の本質だと思う。

それでは一体、「伝える」は何を目指すのか。

何かを感じてくれさえすればいいという消極的な行為だけではなく、自分の思いや考えを、共感や理解して欲しいと望むこともあるはずだ。

・

だが、それを直接でなく、媒体を介して伝えているのが現実だ。

つまり、思いや考えを、言葉や声、表情などの媒体に乗せて届けているに過ぎない。  
もちろん、これに対し相手は返事をしてくれるだけでなく、表情や身振りなど様々な媒体を駆使して反応してくれる。  
こうした相手の返事や反応から、何が届いたかを判断し、その不足を補ったり、間違いを修正するのがコミュニケーションだ。  
伝える側と伝えられる側の双方を体験することによって、伝わるのか伝わらないのかという表現を学んでいくことにもなる。  
自分が相手の身になることを学ぶことで、相手にも自分の身になってもらうという伝達の実現に少しでも近づくことこそが、コミュニケーションの醍醐味だと僕は思う。

・

でもこれでは、こちらの思いや考えが相手に伝わったのかどうかは、どこまで行っても憶測の域を出ない。  
だったら、伝わったかどうかを直接尋ねて確認すればいいじゃないか…と言うのが今日の本題だ。  
「伝達の確認」とは、まさにこのことを指していて、ここからは「確認」についての議論になる。  
「確認」とは「確かに認めること」であり、この場合は「答え合わせ」に近いと思う。  
つまり、自分が伝えたいことを答えとして、相手の答えが自分の答えと一致するかどうかを確かめることだ。  
だとすると、相手に答えそのものを伝え、まずは復唱できるように暗記してもらうのが手っ取り早い。  
その上で、答えに対する共感や賛同、理解や納得、そして協力や参加の可否を尋ねればいいはずだ。  
だがここで、重要な問題があることを忘れてはならない。  
果たして自分は、本当の答えを相手に伝えられているのか。  
このことは、相手が答えを復唱した時に、自分が判断しなければならない。  
たとえ相手が正確に復唱できていても、それを聞いた自分が違和感を感じるようであれば、それは答えでないかもしれないからだ。

・

だがここで、別の見方があることに僕は気が付いた。  
もしも相手の答えを聞いて違和感を感じなければ、それこそが本当の答えかもしれない。  
それがたとえ、自分が伝えたはずの答えと違っていても、聞いて正しいと感じる方が、正しく思えてきた。  
つまり、相手が正しく答えてくれる問いかけこそが、確認の目的なのかもしれない。  
さらに言えば、対話する両者にとって、常に自分は問う側であると同時に答える側だ。  
ならば、上記の確認作業は、常に両者が相互に行うことで、まさに一石二鳥の両得だ。  
自分の答えを探すなら、まず答えと思われるものを相手に伝え、相手の反応の中からヒントを探そう。  
対話や議論は、自分を自身で中から見ると同時に相手に外から見ってもらう行為とも言える。  
互いに相手を利用して、自分を知ることができることこそ、コミュニケーションによる確認作業の醍醐味だ。

<https://nanoni.co.jp/20240129-2/>

.....

#### 4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

#### ■今週の動向

(火) 01/30 笑恵館作業日

相談×：16-18時 Kさん（笑恵館）

（水）01/31 笑恵館作業日

講義○：10-12時 まつむら塾無料ガイダンス（笑恵館）

講義○：22-24時 まつむら塾実現学 B24（zoom）

（木）02/01 笑恵館作業日

（金）02/02 笑恵館作業日

（土）02/03 笑恵館作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会（笑恵館）

（日）02/04 休業日

（月）02/05 笑恵館作業日

#### ■今後の予定

02/07 交流○：13-17時 HFA 訪問イベント（春日台センターセンター）

02/08 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議\_2木（笑恵館）

02/10 交流◎：10-17時 よろず相談会\_土（笑恵館）

02/12 会議×：20-21時 100SMILES\_2日（zoom）

02/13 会議○：20-21時 LR 定例会議\_2火（zoom）

02/15 交流◎：13-18時 なるほどデイ\_3木（笑恵館）

02/15 交流◎：18-20時 持ち寄り食事会\_3木（笑恵館）

02/22 交流◎：10-12時 笑恵館 de シネマ\_4木朝（笑恵館）

02/22 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議\_4木（笑恵館）

02/22 交流◎：19-21時 笑恵館 de シネマ\_4木夜（笑恵館）

02/24 交流○：18-20時 住人食事会\_4土（笑恵館）

02/25 交流○：10-14時 名栗の森 OSC 例会\_4日（飯能）

02/27 会議○：20-21時 LR 定例会議\_4火（zoom）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

#### 5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

.....

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。  
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>